

BUSINESS フィールド

相模大野病院
相模大野病院は相模大野駅南口ロータリーに面する極めて立地の良い所にあり、竣工は昭和六十二年でした。築十九年を経て、空調設備の損傷が目立ち、修理だけでは対応が困難となり今回の全面改修となりました。従来の空調方式は空冷ヒートポンプチャラー（冷温水発生器）から冷温水を各階各部屋に循環し、ファンコイルで冷温風を送り込むものでした。

今回更新した空調方式は、個別空冷エアコン方式と区画ごとにエアコンが独立しているため多くの利点があります。まず部屋ごとに温度設定が可能となり、不要の部屋の空調運転を停止したり、春や秋などには、必要な部屋だけの運転が可能で総合効率が大いに改善されます。また、エアコン本体の効

相模大野病院外観



ホンマ電機が出品した万燈



相模大野病院

空調設備全面更新工事

相模大野病院は相模大野駅南口ロータリーに面する極めて立地の良い所にあり、竣工は昭和六十二年でした。築十九年を経て、空調設備の損傷が目立ち、修理だけでは対応が困難となり今回の全面改修となりました。従来の空調方式は空冷ヒートポンプチャラー（冷温水発生器）から冷温水を各階各部屋に循環し、ファンコイルで冷温風を送り込むものでした。

今回更新した空調方式は、個別空冷エアコン方式と区画ごとにエアコンが独立しているため多くの利点があります。まず部屋ごとに温度設定が可能となり、不要の部屋の空調運転を停止したり、春や秋などには、必要な部屋だけの運転が可能で総合効率が大いに改善されます。また、エアコン本体の効

率も従来機に比べ、50%程度改善されたため大幅な電気料金の節約になります。更にオゾン層に悪影響を及ぼさない新冷媒を採用しています。

改修後の感想を事務長に伺いました。「温度コントロールが思いどおりに出来て患者さんへのサービスが向上しました」「いつ故障するかハラハラすることがなくなりました。ホンマ電機はサービス・メンテナンスでも充実していて安心です」とのことでした。

チーム・マイナス6% (国民的プロジェクト) みんなで止めよう地球温暖化



バファニユーギニアでの子供の森計画事業



マングローブの植林をする日本人ボランティアと自衛隊

チーム・マイナス6%とは

地球温暖化の主な原因としてCO₂の増加があることは、今では疑う余地のない事実となっています。チーム・マイナス6%では、CO₂削減のための具体的な六つのアクションを提案しています。日々のちょっとした気遣いが、積み重なれば大きな削減になり、チーム全員が実施すれば、さらに確実に大きな削減が期待されます。

例えばこんなこと

1. 冷房は28度、暖房の室温20度
2. 蛇口はこまめに閉めよう
3. エコドライブをしよう
4. エコ製品を選んで買おう
5. 過剰包装を断ろう
6. コンセントからこまめに抜こう

具体的には六つの行動をあげております。ことを、身近なところから取り組んで下さい、そして行動に移して下さい、環境省が呼びかけている国民的プロジェクトです。

このプロジェクトの拡がりは

現在の加入者は、有名人や研究者を含めた七十八万人の個人と、七千八百の企業・団体がこの運動に賛同し登録しています。チーム・マイナス6%に登録参加することで、個人の環境への意識が高まり、小さな行動でも無駄なことはない、役に立っていることを実感できます。また企業は、その実行が大きな効果を発揮すると同時に、企業イメージを上げる効果も期待されます。

チーム・マイナス6%については、ホームページでも詳しく紹介されております。ご覧頂くことをお勧めします。かげがえのない地球を、正常な形で後世に引き継ぐ義務が、今の私たちにはあると思っております。

京都議定書とは
1992年の地球環境サミットで、気候変動枠組条約が締結され、現在、日本を含む188カ国及び欧州共同体が締結国となっています(2006年6月現在)。これは大気中の温室効果ガス(CO₂等)の増大による地球温暖化を抑止することを目的としたものです。この条約の目的を達成するために、COP3(第3回締約国会議)で採択された議定書が京都議定書です。ここでは先進諸国に対して、2008年～2012年の間に、1990年比で温室効果ガスの削減が数値として義務づけられました(日本は6%)。日本を含む140カ国と欧州共同体が締結し、2005年2月16日、京都議定書は発効しました。



大忙しの模擬店と、そのまかない

夏祭り屋台村 恒例の夏祭り屋台村が八月六日(日)午後四時、相模原市上鶴間本町の「風の子広場」で、後援会の人々八百人が集い開催されました。とても暑い日でしたが、谷



渋谷毅&さがゆき



相模大野を中心とした飲食店による屋台

夏祭り 今年七月はつきりしない天気が多く、夏祭りには今ひとつ盛り上がりに欠けました。しかし八月に入り連日暑い日が続き、夏祭り日和となりました。ホンマ電機では、今年も近隣の自治会や神社などから照明や音響工事の依頼に追われ、忙しい夏でした。主な催しを紹介します。

第二回もんじえ祭り 相模大野中央公園で八月二十六日三時に開催。近隣地域の飲食店が多数参加しての屋台と数々のバンド演奏を楽しむむなへで、この電気工事を今年も依頼



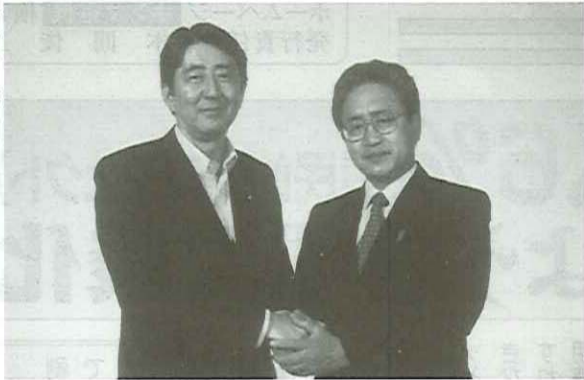
④8 近況報告

このイメージマークは「サレバマーク」として登録されています。



平成18年5月
本間としろう、自民党公認

安部 浩三 首相



平成十五年四月の総選挙において神奈川県議会議員に立候補し、一万三千三百八十三票を取りながら、今二歩のところまで敗退しました。ホンマ電機の経営に関わりながら、捲土重来を期して活動を続け、平成十八年五月に自民党公認を戴きました。

来年の総選挙においては、無所属でなく自民党公認で立候補の予定です。自民党の政策、特に教育基本法の見直し、再チャレンジ可能な社会構築、年金改革の緊急性などは私の政策と致しており、胸を張って主張してゆきたいと思っています。

民主党は格差のない社会を主張していますが、頑張っても頑張らなくても差のない社会は作れません。どうやって発展するのでしょうか。皆が頑張ったから日本は発

展しました。その結果、格差が出来たのですから、これから重要なことは、底辺の引き上げであると思えます。国全体が発展し豊かになればこそ、それも出来るのです。

また地域の活動として犯罪の巣といわれた上鶴間本町風俗街(外人売春街)の撲滅市民運動を主導し、警察の取り締まり強化の結果、今では一軒も営業できなくなりました。また災害発生時のボランティア活動推進活動も、陣頭に立って行っております。

本間の地域活動は、自民党らしくないと言われます。自民党らしからぬ自民党員かも知れませんが、信念を曲げず頑張る所存です。(本間)

市民生活を脅かす犯罪の増加

訪問詐欺の急増

近年はマスコミ報道で凶悪事件や犯罪を取り上げない日がないほどに、重大な凶悪事件が頻発しています。

その陰では、報道されない小さな事件や犯罪も急激な勢いで増加し、我々市民生活を脅かしています。

(図1)は十七年度犯罪白書におけるグラフです。

最近の特徴は、窃盗事件が減少したのに対し、詐欺の急激な増加であります。詐欺については平成十四年以降、年々増加し、十六年度の場前は前年比37%の増加となりました。一方、検挙率はこれに反比例して年々低下しています。

詐欺商法から身を守る

あなたの財産を狙う犯罪には大別すると、「悪質商法」「振り込め詐欺」「侵入窃盗」「ひったくり」などがあります。近年増加しているいわゆる詐欺には、訪問するタイプと訪問しないタイプがあります。今回は訪問型に絞って、撃退法について考えてみました。

訪問型で多くの被害が報告されている悪質住宅リフォーム業者の場

合、普段、素人には目の届かない屋根とか天井裏・床下・下水などに関するものが多くです。警察のアドバースによれば、①甘い言葉に乗らないう、②しつこいセールスには「いいません」とはっきり断る、③解約できるか、確認することが大切のことです。

また、少しでも怪しいと感じたら契約せず、地元の信頼できる業者に相談するのが安全です。

このように向に減らないのが振り込め詐欺です。この場合は訪問ではなく、電話のやり取りになります。その際、動揺しない、慌てないことが大事です。いずれの商法に対しても代金前払いの場合、購入を止めるよう警察は呼びかけています。

訪問型悪質商法に対するの撃退法の一つとして、玄関にカメラ付インターホンを採用することも有効な手段と考えます。来客に対して失礼の向きもあるかと思いますが、それは、割切って採用されてはいいかが



警察庁の統計及び総務省統計局の人口資料による



玄関子機

でしょう。チャイム等との交換は、資格も特別な技術も必要なく、ホームセンターなどで購入し、自分で取り替えてみることをお勧めします。取り付け相談は、弊社または相模原電気工事協同組合(756-2949)でも受け付けております。

企業ルポ ● お客様紹介 (51)

ティーエルトランスポート株式会社 代表取締役 相模原センター長 坂内 萬樹雄氏 相模原センター長 大山 善宏氏

本社 東京都世田谷区若林3-13-7 相模原センター ☎ 042-765-3313 FAX 042-765-3189

相模原センター 〒228-0802 相模原市上鶴間1-12-3



広い間口と奥行の深い表入口



パンやケーキのメーカーなどの配送を担う専属車

ティーエルトランスポート

- ・設立 昭和20年6月7日
- ・資本金 80百万円
- ・代表取締役社長 坂内 萬樹雄氏
- ・年間売上高 20億円
- ・事業所数 14ヶ所
- ・従業員数 300名
- 相模原センター30名
- ・車両数 200両
- ・事業内容 貨物輸送(ドライ・チルド・フローズン)、引越(個人・法人)、物流センター運営(ドライ)、梱包、トランクルーム(マンション内)、賃貸マンション、その他物流業務全般

小田急沿線を中心として、長年にわたる真摯な物流業務への取り組みが事業の礎となり業容が拡大、今や、企業や学校、また個人にも信頼できる物流パートナーとして高い評価を得ています。

戦後の復興期に小田急線の松田から東京へ建設資材をトラック

で運ぶ事業を開始、世田谷運送(株)として出発しました。

小田急電鉄傘下の小田急グループの一員として、かつては99%の資本導入による運営もありましたが、ティーエルトランスポートとなった現在も、小田急グループの一員として培った50年間の実績により、小田急沿線の多角的な業務に携わっています。

企業の移転・引越では、コンピューターやOA機器の搬送から図書館、学校の移転、電鉄グループのノウハウを活かした駅の自動改札機の移転設置など。専任スタッフの豊かな経験に基づく効率的な搬送を実現。また一般引越では社宅や社員寮、社員の転勤、結婚など個人の引越にも対応。

会社の専属・貸切として輸送部門を代行。デパート・スーパーマーケット・コンビニエンスストア・レストラン・食品会社・ホテルなどで同社が物流のパートナーとして活躍してい

ます。マンション事業は長年、トラックの営業所であった用地が時代の変遷と共に都会の一等地となり、マンションとして有効活用。

相模原の物流センターは小田急沿線の各駅への搬送に最適の地にあり、食品(パン・菓子類)・タバコ・雑貨などを400坪の2階建ての2フロアで在庫管理。現在、物流業務は増えていますが、常に厳しいコスト低減が課題。ガソリン高騰の折、「水で走るトラックが欲しい」と大山同センター長。

ホンマ電機は同事業所に隣接し、他事業所も電設工事のお客様です。



高い建物への引越もラクラク外から